

令和元年度包括外部監査 結果概要

令和2年3月26日
包括外部監査人 小川千恵子

◆ 監査テーマ

委託契約の財務事務の執行について

◆ 監査対象

【対象年度】

平成30年度を対象とする。

【対象部局・機関】

知事部局

◆ 監査の観点

【監査の主な要点】

- ▶ 委託契約の事務手続が法令等に準拠して適正に行われているか。
- ▶ 委託した業務の履行確認は適切に行われているか。
- ▶ 委託契約の業務仕様は経済的かつ効率的であるか。
- ▶ 委託契約金額の積算は十分な根拠に基づいて合理的に行われているか。
- ▶ 委託契約の入札制度や随意契約手続は適正に履行されているか。
- ▶ 委託契約の実績及び成果に関する検証が適切に行われているか。

【監査の主な手続】

- ・入手資料等の閲覧、質問による監査対象事業の概況把握
- ・関係書類の閲覧、照合、分析
- ・視察、管理状況の把握

◆ 監査の結果

指摘 5件 意見 102件

■ 主な指摘

◆ 防災行政無線の管理【危機管理防災部】

災害時の停電を想定して設けられている蓄電池について、数年後に控えた再整備事業で全て更新するとし、毎月の点検で正常であることを確認しながら、メーカー設定の交換期限を超えて使用していた。危機管理に関することなので交換期限を守るべきである。

◆ 個人情報の委託先への指導の徹底【農林部】

個人情報の取扱いに関する誓約書について委託先の従事者が個人情報を取り扱う前に署名するよう指導し、実際の取扱いについても従事者に個人情報に関する事項が周知徹底されるよう、委託先に対する指導を徹底させるべきである。

■ 主な意見

◆ 長期継続契約の締結について検討することが望ましい。【総務部、都市整備部】

継続的に安定したサービスの提供やコスト削減の観点から、長期継続契約を締結することを検討すべきである。

◆ 委託先との打合せ及び事業完了後の振り返り会議については、適切に記録を残すべきである。【県民生活部】

事業完了後の振り返り会議については、職員の異動、配置換えによる情報の共有をスムーズに行うためにも、適切に記録を残すべきである。

◆ 入札の参加資格や仕様書で入札参加者を限定し、競争入札で事業者を選定すべきである。【福祉部】

参加資格や仕様書で入札参加者を限定することで競争入札で選定が可能な事業については、競争入札で事業者を選定すべきである。